

## 【22\_119技術系メルマガ】トレードの迷いを減らしたかったら『損切』を先に決めろ

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

日々デスクワークだけで運動不足だったりすると、どうしても思考が硬直しがちだし

ちょっとしたことで「イラ立ち」を感じてしまう事ってありますよね。

そういう時に、僕はちょっと走りに行ったり、筋トレをしたり

時間に余裕があればサウナへ行って汗を流して帰ってくるといった

『生活への変化球』を放り込むようにしているのですが

最近、別ジャンルの発信者の情報を見て知った「とある商品」にハマってます。

「オッポマン」というのですが、ソファに座って足を休めるオットマンと

トランポリンをかけ合わせたようなアイテム。

検索するとメーカーのページに行けるので、興味ある人は調べてみてください(笑)

我が家では、姉者と妹者が跳ねて遊んでます(妹者は補助付きで 笑)

跳躍動作は、思った以上に運動負荷が高いらしいので、自宅でのちょっとした運動にも良いみたい  
です。

┌  
└─  
■ 何よりもトレードで大事なものは『負けた時』を考える事

さて、本日のテーマですが、いきなり景気の悪いサブタイトルで申し訳ありません(笑)

ですが、トレードで継続的に 利益を残す ということを考えるにあたって

この考え方は欠かすことができないのです。

何故なら、トレードで大事なものは「勝つ」ことではなく『“継続的に”稼ぐ』事であり

そのためには『リスクの把握』と『最小化』を行う事が最も重要な要素のひとつだからです。

自分がそのエントリーで「負けた場合」に支払うコストがいくらなのかを把握し

その分に見合った『リワード』を得られる見込みがあるのか？

そこまで考えて初めて、そのエントリーには優位性があると判断できるわけです。

例えば、飲食店を例に考えてみましょう。

飲食店は、その業態や規模によってまちまちですが、基本的に「設備コスト」「材料費」「人件費」といった

諸々のコストを先に支払ったうえで、収益を挙げないといけない点にその難しさがあります。

トレードで言うなら、損切りのお金を結果が出る前から払っている状態に近いかもしれませんね。

それで無事に黒字になれば、支払ったコスト以上のお金が返ってきますが、失敗すれば当然ながら

先に支払ったお金は返ってきません。

なので、読めば当たり前の話のように思えるかもしれませんが、飲食というビジネスを成功させようと思う人は

必ず『事前にリスク(コストの幅)』を把握しようとしています。

これが不思議なことに、トレードとなると「エントリーが先行」し、先立つべき「コスト計算」があと回しになってしまう。

これでは、負けが込んで退場になってしまっても仕方ありません。



今回は、割とテクニック色が強い話になったので長くなりましたが

大事なのはいつも定めている自分の『型』に沿って、常に『一貫した損切り』を最初に決めてやり  
リスクを事前に把握したうえで、そのエントリーの是非を判断するという意識である。

それを日々念頭に置いてもらえたらと思います。